

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	Extra-cardiac TCPC 術後 conduit 狭窄に対する conduit replacement 前後の血流解析
研究責任者	聖隷浜松病院 心臓血管外科 曹 宇晨
研究実施体制	当院当科医師による後向き観察研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026年 3月 31日
対象者	2022年1月から2024年8月までの間に、当院で conduit replacement (導管置換術) を行った extra-cardiac TCPC (心外導管型 Fontan 手術) 術後遠隔期の患者さまを対象としています。また、一度も導管置換術が行われていないものの、遠隔期に CT 検査をお受けになった心外導管型 Fontan 手術術後の患者さまも対象としています。
研究の意義・目的	Fontan 型手術の導管は時間経過とともに狭窄することが知られています。当院では、Fontan 手術後遠隔期に conduit (導管) 狭窄を生じ、導管置換術を行った症例を経験しています。最近の当科における研究により、潜在的に導管狭窄をきたしている症例は多いことが判明していますが、導管置換術を行う適応は未だ明らかではありません。本研究では、CT 画像をもとに専門的なソフトウェアを用いて導管交換術前後の血流解析を行い、流体力学的な変化を検討することで、今後の導管狭窄に対する治療戦略を考える上での一助につなげたいと考えています。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目を調査し、CT画像をもとに血流解析を行います。 年齢、性別、基礎疾患、初回心外導管 TCPC の手術日・手術内容、臨床経過、術後遠隔期の心臓カテーテル検査結果、術後遠隔期の CT、心外導管 TCPC 後再介入の内容と時期、心外導管 TCPC 術後の血液検査結果、最終受診日。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 心臓血管外科 (氏名) 曹 宇晨 TEL : 053-474-2222 (代表) 心臓血管外科外来 9:00~17:00 平日